

「伊方」再稼働 許さない

官邸前行動



「伊方原発再稼働反対」「原発を廃炉に」と抗議する人たち。30日夜、首相官邸前

千葉県松戸市の山田道子さん(66)は実家が福島県南相馬市です。「原発が爆発した映像は忘れられない。福島は復興のめどすら立っていない。再稼働なんでもってのほかです」。

首都圏反原発連合(反原発)は30日、170回目の首相官邸前抗議行動を行いました。四国電力伊方原発(愛媛県)の再稼働には、地元紙の世論調査でも7割近くが反対しています。この民意を無視して再稼働へ暴走する安倍晋三政権に、1200人(主催者発表)の参加者は「伊方原発再稼働反対」「原発いらない」の声を上げました。

埼玉県富士見市の高埜寿一さん(61)は「伊方原発は地震の危険があり、安全な避難もできない。再稼働したらだめだ。国民の声を聞かない安倍首相の姿勢は許せない。これからも止めるまで声をあげ続ける」といいます。

東京都中野区の伊藤かつみさん(61)は「国民も県民も圧倒的多数が再稼働反対です。正義は私たちにあります。私たちの声で必ず原発をゼロにします」。

東京都柏江市の石塚輝義さん(68)は「伊方原発再稼働に向けて安倍首相は『万一のときには私が責任をとる』というが、責任などとれるはずはない。時間のある限り参加します」と話しました。

反原発はこの日、リーフレット「伊方原発再稼働ほんとうにいいの?」の配布を開始しました。

日本共産党の藤野保史、池内さおり両衆院議員が参加し、国会正門前でスピーチしました。